

京都市

緑のボランティアセンター ニュースレター



令和7(2025)年 6月号

京都市緑のボランティアセンターより、緑のボランティア活動や地域での活動に役立てていただくため、市内各所の活動実例や緑に関する情報をご紹介します。

新しく生まれ変わった憩いの場～久世橋公園が再開園！～



京都市では、施設の老朽化が進む公園の再整備事業を進めています。その一環として昨年10月から進めてきました久世橋公園(南区)の再整備工事が完了し、6月3日に再開園しました。

地域住民が参画したワークショップを参考に、遊具を増やすなど施設を充実させ、幅広い世代で楽しめる地域の憩いの場として整備されています。

写真の複合遊具をはじめ、滑り台や背のばしベンチなど色々な遊具を楽しめる公園になっています。

ぜひ新しくなった久世橋公園に遊びにきてください。



■三条大宮公園愛護協力会(中京区)



▲左から西田さん、石田さん、大網会長、伊藤さん

京都三条会商店街に面している三条大宮公園。地域女性会の体操の場となっているほか、商店街のイベント会場としても盛んに利用されます。

三条大宮公園愛護協力会は、平成9年に結成されました。定例的な活動日は設けず、町内会・地域の方々とも協力し、個々に清掃・草抜き・ごみ拾い等を行うスタイルを採られています。

20年前に前任者から会長を引き継いだ大網(おおあみ)会長は、「観光客が多く、人通りが大変多いため、どうしてもごみが散らかります。お子様からお年寄りの方まで幅広い世代が利用するこの公園を、京都市とも相談しながら環境を維持していきたいです。」とお話されています。

会員の皆さまに活動に対する
思いをお尋ねしました(敬称略)

大網会長 美しい公園には自然とみんなが集ってくれます。これからもそうなるよう継続していきたいです。

石田 公園をきれいにしたいと考えて参加しています。

西田 ごみの散乱に問題意識をもち、公園の利用者の役に立てればと活動しています。

伊藤 私たちが行っているボランティア活動が地域の方々に認められるよう意識しています。



▲作業のときは、低木の中までお掃除をされるとのこと、細かいところまで目の行き届いた丁寧な作業をされています。



▲京都三条会商店街のアーケード内からみた三条大宮公園



市内2団体 緑のボランティア団体の御紹介

■街路樹サポーター 小倉町緑の会「吉村建設株式会社」(中京区)



街路樹サポーター「小倉町緑の会」は、建設会社の職員が集まり、平成20年に結成されました。

JR二条駅近くにある会社周辺の六軒町通のハナミズキ並木で活動されています。

街路樹サポーターとして活動する以前から長年にわたって植栽樹の除草や道路清掃に取り組まれておられます。

活動は毎週火曜日・木曜日の午前8時から2~3名で行っており、日によっては最大13名で活動されています。

活動について幹事の野口さんは、「建設会社として、これまで道路を建設してきましたが、造るだけでなく造った道路を自分たちで手入れし、まちをきれいに保つお手伝いできればという思いで活動をしています」とお話されています。また、街路樹や道路の清掃活動をしていると、道路がどこから傷むのかがわかってくるとのことです。「最近、維持管理する仕事も増えてきたので、新しく道路を造ったり修繕する時に、どのような配慮が必要なのか若手社員とともに考える機会にもなっており、仕事にも役立っています」と語られています。



▲車道と歩道の境目にたまるごみも取り除いています



▲取材日当日はちょうど開花を迎えたハナミズキの下での清掃活動となりました。



▲植栽樹の除草の様子

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰とは

「みどりの日」の制定の趣旨を踏まえ、緑を守り育てる国民運動を積極的に推進していくため、国土交通省が、「花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対し、その功績をたたえ、国民的運動としての緑化推進活動の模範として表彰するものです。

京都市からの お知らせ

街路樹への水やりの御協力をお願い

近年、夏の猛暑と降雨のない状況により、市内の多くの街路樹(主にハナミズキ)の枯損や葉枯れなどの被害が発生しています。京都市においても水やりを実施してきましたが、実施できる範囲には限りがあり、市民、事業者をはじめとした皆様の御協力が不可欠です。

今年も、梅雨明け以降、厳しい暑さが続くことが予想されます。降雨がない状況が続いた場合、皆様ができる範囲で街路樹への水やりにご協力いただきますようお願いいたします。



御協力のほど、よろしくお願いいたします



- ✓ 水やりは日差しの強い日中を避けて、朝・夕方をお願いします。
- ✓ 水やりの量は「一つの植樹柵(樹木1本)につきバケツ1杯程度」を目安をお願いします。
- ✓ 水やりを使用する水は、一度使った水(お風呂の水など)でも大丈夫です。

コラム 知って楽しい! 身近な植物のひみつ

私たちの身近には面白い特徴を持つ植物がたくさんあります。

多くの花には色鮮やかな花びら(花弁)がありますが、花びら以外の部分が目立つ植物があります。今回はそんな植物をいくつか御紹介します。

■苞(ほう…花のもとにある葉で、つぼみを包む)が目立つようになったもの



▲カラー (サトイモ科) サトイモ科の多くには目立つ苞があり、仏炎苞と呼ばれる。カラーには白い苞をもつオランダカイウ(上写真)など様々な種類がある。



▲ドクダミ(ドクダミ科) 民間薬として知られる植物。葉に斑が入るものや八重咲きの栽培品種もある。横にはう地下茎を広げて群生する。



▲ハナミズキ 花水木 ミズキ科
北アメリカ東部原産の花木で、日本には明治中期に導入された。別名をアメリカヤマボウシという。

■がくが目立つようになったもの



▲アジサイ 紫陽花 (アジサイ科)
大きく目立つがくのある花は「装飾花」と呼ばれる。アジサイはその下に花が隠れるように咲く。



▲テッセン 鉄線(キンポウゲ科) 中国原産で、クレマチスの野生種の一つ。クレマチスの仲間を全部まとめて「テッセン」と呼ぶことも多い。



▲ヤマボウシ 山法師 ミズキ科
ハナミズキに似ているが、日本にも自生する。ハナミズキとは開花期や樹皮・果実の形態等が異なり、ハナミズキは4月、ヤマボウシは6月に咲く。

お気軽に
ご相談
ください

京都市緑のボランティアセンター

電話:075-352-2535(梅小路公園内専用回線)

場所:梅小路公園緑の館2階ロビー(京都市下京区観喜寺町56-3)

時間:午前9時~午後5時まで 月曜日を除く毎日(年末年始12月28日~1月4日休み)